



国道140号 大滝トンネル

大滝トンネル位置図



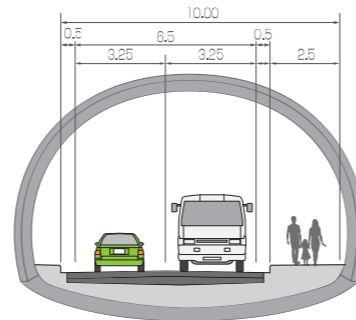
広域図



事業概要

- 秩父市大滝地区の国道140号現道は、急斜面の山裾を切り開いた道路のため、急カーブが連続し、落石や岩盤崩落なども多く発生しています。
- この区間は、秩父市内で唯一、迂回路のない幹線道路であるため、災害時などにこの道路が寸断されると避難や物資の輸送に大きな支障となります。
- 国道140号大滝トンネルは、このような危険な現道約7kmの区間を約2kmのトンネルでショートカットする道路です。
- 大滝トンネルの整備により、この区間の走行時間の短縮や安全性の向上、地域の防災力強化、観光地へのアクセス改善など、多くの効果が期待されます。

標準横断面図



計画概要

- 事業区間** 【起点】秩父市荒川白久
【終点】秩父市大滝
- 延長** 約2.4km (うちトンネル区間約2.0km)
- 幅員** 10.0m
(車道部/7.5m + 歩道部/2.5m)
- 車線数** 2車線
- 道路区分** 第3種第2級
- 設計速度** 60km/h

大滝トンネルの整備効果

落石などの危険な区間のない 災害に強い道路になります



秩父市大滝地区の国道140号現道では、落石や斜面の崩壊等の災害が頻発しており、平成10年以降の約20年間で、大規模な崩落が6回、落石が20回以上発生し、その都度通行止めなどの交通規制を余儀なくされています。大滝トンネルの整備により、これらの危険な区間を回避することができ、平時にも災害時にも安心・安全に通行することができるようになります。

狭あいで見通しの悪い区間がなくなり 交通事故が減少します



国道140号現道7kmの区間には、岩盤が道路にせり出していたり(オーバーハング)、狭あいなトンネルや見通しの悪い箇所などが多数あります。そのため、追突や正面衝突などの事故が発生しており、この区間の死亡率は県平均の3倍となっています。大滝トンネルの整備により、良好な線形と十分な幅員が確保されるため、交通事故の大幅な減少が期待されます。

観光地へスムーズにアクセスできるようになります



近年、秩父地域の観光客数は大幅な増加傾向にあり、平成29年の観光入込客数は1,000万人を突破しています。国道140号沿線においても、三峯神社や三十槌の氷柱(みそつちのつらら)などの関東有数の観光スポットがあり、大滝トンネルの整備により、秩父市街地方面から、これらの観光地へのアクセス時間が約10分程度短縮され、観光客のさらなる増加が期待されます。



埼玉県西関東連絡道路建設事務所

〒369-1412 埼玉県秩父郡皆野三大字皆野 2511 番地 1
TEL 0494-62-5811 FAX 0494-62-5813
URL <https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1014/index.html>

